

日本史籍講読4－Ⅳ

科目ナンバリング JPH-408
選択必修 2単位

山本 英貴

1. 授業の概要(ねらい)

春季に引き続き、戦国大名が定めた分国法、豊臣政権・江戸幕府が出した有名な法令を読み進めていく。ただし、受講生から要望があれば法令ではなく武士や百姓の日記、「くずし字」で書かれた史料などを取り上げる。

2. 授業の到達目標

辞書などを参考に史料を正確に現代語訳できるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

報告および課題の提出(50%)
学期末テスト(50%)

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

受講生は報告担当時、史料の書き下し文と現代語訳、語句・人名を調べたレジュメを作成すること。

6. その他履修上の注意事項

学期末テストは受講生作成のレジュメをもとに実施する。他の受講生にも関わることであり、報告担当時はレジュメをしっかりと作り込むこと。

7. 授業内容

【第1回】	本授業の説明・輪読史料の選定と解説・報告者の選定
【第2回】	史料の輪読
【第3回】	受講生の報告【一巡目】①
【第4回】	受講生の報告【一巡目】②
【第5回】	受講生の報告【一巡目】③
【第6回】	受講生の報告【一巡目】④
【第7回】	受講生の報告【一巡目】⑤
【第8回】	受講生の報告【一巡目】⑥
【第9回】	受講生の報告【二巡目】①
【第10回】	受講生の報告【二巡目】②
【第11回】	受講生の報告【二巡目】③
【第12回】	受講生の報告【二巡目】④
【第13回】	受講生の報告【二巡目】⑤
【第14回】	受講生の報告【二巡目】⑥
【第15回】	学期末テストとまとめ